

茅ヶ崎市，寒川町，藤沢市におけるタゲリー斉調査 (2011 年度)について

樋口公平¹⁾ 平田稔²⁾

はじめに

タゲリ *Vanellus vanellus* (Linnaeus, 1758) は、チドリ科の冬鳥で、神奈川県レッドデータ生物調査報告書(2006)では絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。また茅ヶ崎版レッドデータリスト(2006)では絶滅危惧種に位置づけられている。

このような状況の背景として越冬地の生息環境が悪化していることがあげられる。

タゲリの好む越冬地の環境は、平地の見晴らしのよい水田などで、特に湿田が好まれている。

餌は、水田の土の中のミミズや昆虫類などを主として、他にドジョウやトウキョウダルマガエルなどの記録もある。

これらの越冬地環境である県内の水田は、都市化の影響により著しく減少している。茅ヶ崎市も例外ではなく、平成元年から平成 17 年までの作付面積は 113ha から 53ha と 47%に減少している(神奈川県環境農政部農業振興課作成資料、茅ヶ崎市 2005 年農林業センサスによる)。

県内のタゲリは、10 年程前までは横浜市や三浦市に飛来していたが、水田の減少と共にすでに飛来が途絶えており、今回の調査地である茅ヶ崎市、藤沢市、寒川町の湘南地域の越冬地は、東京以西においては東京に最も近い越冬地となっている。

タゲリー斉調査会では減少し続けているタゲリの越冬状況を把握し、保護していくためのデータ収集を目的として、2000 年から毎年茅ヶ崎市、寒川町、藤沢市でタゲリの越冬個体数や移動ルートの調査を続けてきた。2011 年度から三翠会が主催を引き継ぎ調査を継続実施した。

以下にその結果を報告する。

※「タゲリー斉調査」の構成メンバー

三翠会、茅ヶ崎野外自然史博物館、日本野鳥の会 神奈川支部、神奈川県自然観察指導員連絡会、さむ

かわエコネット、地域の市民などの有志

1. 調査日時

2011 年 12 月 18 日 10:00~12:00

調査日は例年通り 12 月の中旬で統一した。

2. 調査地点

合計 14 か所の調査地点を下記のように設置した。

市境をまたがるところはカッコで市町村名を付記する。

・茅ヶ崎市(6 か所)

打戻(藤沢市)・芹沢新道橋付近、芹沢農地改良碑付近、下寺尾西方・一ツ橋、下寺尾北方・寺尾橋・岡田(寒川町)、西久保大町西側・北側(調査本部)、赤羽根

・寒川町(4 か所)

一之宮西・八丁目、一之宮東・大曲三丁目、大曲四丁目・田端、小動旭橋北

・藤沢市(4 か所)

大庭、宮原大昭橋北側、宮原大昭橋南側、宮原久保田橋

これらの定点は茅ヶ崎市、藤沢市、寒川町で過去にタゲリの飛来の情報があった場所や、飛来の可能性のある場所、今季に確認情報のあるところを選んだ。また地形としては見晴らしのよい水田地帯を選んでいる。

1)新設した調査地点

タゲリ飛来情報減や調査員減ではあるが、宮原大昭橋北側を調査地点として新設した。これは宮原大昭橋周辺で確認情報が多いことに起因しており、重点地区とし、調査精度を上げる為である。

2)巡回調査地点の設置

調査員減であることから、一之宮西・八丁目と一之宮東・大曲三丁目は、巡回(自転車移動)調査地点とし、より効率的に調査できるように変更した。

3. 調査方法

以下のとおり従来と同様の方法を取った。

1) 定刻一斉調査

10:00, 10:30, 11:00, 11:30, 12:00 に、各調査地点で一斉にタゲリの個体数を数える。

2) 移動ルート調査

各調査地点でタゲリの飛来、飛去、通過を確認した場合その時刻、移動方向、羽数を随時本部に携帯電話で連絡し、本部はその移動先と思われる調査地点に連絡する。このことにより、タゲリの移動ルートを掴む。

各調査地点には、タゲリの識別能力の高いリーダーを含む1～3人を配置した。

観察には双眼鏡、望遠鏡を使用した。

4. 調査参加者

- 【打戻・芹沢新道橋】山口英雄, 山口恭子
- 【芹沢農地改良碑】山川賀津人, 山川優
- 【下寺尾北方・寺尾橋・岡田】目黒啓子, 熊澤さえ子
- 【下寺尾西方・一ツ橋】伊藤修二郎
- 【西久保大町西・北（調査本部）】鈴木國臣
- 【赤羽根】吉田章子
- 【一之宮西・八丁目】滝田紘一, 斉藤光男
- 【一之宮東・大曲三丁目】（滝田紘一, 斉藤光男）
梶山春江
- 【田端・大曲四丁目】河村まき子
- 【小動旭橋】石井大輔, 山下一男
- 【宮原大昭橋北側】小山裕太, 佐藤守
- 【宮原大昭橋南側】樋口公平, 黒田清恵

【宮原久保田橋】平田稔, 高島るみ子, 杉山光生

【大庭】濱伸二郎, 浅野牧子

地点名の次に書かれている名前の方が各地点のリーダー役とした。

5. 調査結果(表1)

1) タゲリが確認された調査地点

以下の地点で確認された。

藤沢市：宮原大昭橋南側で5羽

2) 調査エリアに渡来している個体数の推定

定刻一斉調査の結果は表1のとおりである。5羽が確認され続け、少なくとも5羽以上が渡来していることが確認された。

3) 移動ルート調査の結果

当初、藤沢市宮原大昭橋南側調査地点で確認された5羽は、その後も周辺を移動することも飛去することもなく同調査地点で確認でき、調査は終了した。

6. 考察

1) 地域別の状況について

今回確認された藤沢市宮原の目久尻川流域の水田地帯は、2008の調査で初めて確認され、4年連続して今年も確認された。過去に不定期に確認情報があり、過去の一斉調査でも何回か定点としたことがあったが確認されていなかった。この水田地帯は面積も広く、エリア内の休耕田や建造物も少ないため見渡しのよいタゲリの好む環境となっている。安定的な越冬地として利用されている。

調査地点	調査時間				
	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00
藤沢市宮原・大昭橋南側	5	5	5	5	5
合計	5	5	5	5	5

表1. 時間別確認個体数(タゲリが確認された地点のみ)

一之宮、田端、大曲、萩園、西久保は、一帯となった水田エリアで、過去から中心的な越冬地となっていた。2007年の調査までは安定的にこの地点で確認されていたが、2008年初めてこの一帯からの記録が途絶えてしまった。2009年の調査では記録が復活したがまた絶えてしまった。

岡田、下寺尾両調査地点では2005年の調査では記録されたが、2006年以降今回も未確認。

芹沢の小出川上流域は、2001年度から毎年交互に確認、未確認を繰り返し2005年は確認できたが、2006年以降連続して今年も未確認となった。赤羽根は2009年2011年の渡りの初期に確認情報があり、定点として同年から復活したが今回も記録は得られなかった。渡りの時期に立ち寄っていると思われる。以前は記録があり、土地改良事業が始まってから見られなくなったが、土地改良後に水田がエリアの中央付近にまとめられ、途絶えていた稲作も始まっている。水田に湿り気もあるため今後も可能性がある場所として考える。

引地川水系の大庭については渡りの時期の初期に通過個体が立寄る情報はあがるが、一斉調査では2002年度の記録を最後に今回も記録は無かった。

記録地点については2006年、2007年、2008年には1か所ではしか確認できなくなっていたが2009年には2か所、2010年、今年度も1か所となった。

2) 確認羽数の推移について(表2)

2000年度65羽以上、2001年度50羽以上、2002年度25羽以上、2003年度は36羽以上、2004年度は32羽以上、2005年度は26羽以上、2006年度は18羽以上、2007年度13羽以上、2008年度7羽以上、2009年17羽以上、2010年9羽以上、2011年5羽以上となり、減少の一途をたどっている。

また、参考として約一か月後の2012.1.21に今回と同一地点で7羽が確認され2羽増えたことがわかった。

3) タゲリの減少と保護について

タゲリの確認地点が2010年に続き2年連続一か所となり、宮原地区が相模川以東の県内最後の越冬地となっている。その宮原地区も数が減る傾向が出ている。今まで中心の越冬地であった茅ヶ崎市を含む

小出川中流(一之宮、田端、大曲、萩園、西久保地区)での記録が、2年連続で記録が途絶えた。

宮原地区は最後に残った相模川以東の越冬地であるが、当地も休耕田の増加や、水田から庭木の栽培に転作されるところが出てきており、タゲリの生息環境としては悪化の傾向がある。都市近郊の水田は水生生物や野鳥など多くの生き物を育む場所だけではなく、保水力による洪水の抑止や、ヒートアイランド現象の抑制や癒しなどの空間として人にも役立つ機能を持つ。茅ヶ崎市では西久保の市街化調整区域の水田に遊水地としての助成金が出る仕組みができたが、同様の政策が他市町にも展開されることを望む。

参考文献

神奈川県レッドデータ生物調査団編, 1995. 鳥類.

神奈川県レッドデータ生物調査報告書, 140-156.

神奈川県立生命の星・地球博物館, 2006. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006, 鳥類. 233-264.

茅ヶ崎市, 2006. 茅ヶ崎市自然環境評価調査概要報告「自然環境評価マップで茅ヶ崎の自然を見てみよう」, 36-38.

樋口公平・岸一弘, 2002. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー一斉調査(2000年度)について. 文化資料館調査研究報告, (10): 29-31.

樋口公平・岸一弘, 2003. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー一斉調査(2001年度)について. 文化資料館調査研究報告, (11): 17-19.

樋口公平・岸一弘, 2004. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市, 横浜市戸塚区におけるタゲリー一斉調査(2002年度)について. 文化資料館調査研究報告, (12): 25-27.

樋口公平・岸一弘, 2005. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー一斉調査(2003年度)について. 文化資料館調査研究報告, (13): 1-3.

樋口公平・岸一弘, 2006. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー一斉調査(2004年度)について. 文

化資料館調査研究報告, (14)：1-3.

樋口公平・岸一弘, 2007. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2005年度)について. 文化資料館調査研究報告, (15)：11-13.

樋口公平, 2008. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2006年度)について. 文化資料館調査研究報告, (17)：1-3.

樋口公平, 2009. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2007年度)について. 文化資料館調査研究報告, (18)：1-3.

樋口公平, 2010. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2008年度)について. 文化資料館調査研究報告, (19)：11-14.

樋口公平, 2011. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2009年度)について. 文化資料館調査研究報告, (20)：69-72.

樋口公平, 平田稔 2012. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2010年度)について. 文化資料館調査研究報告, (21)：57-60.

1) 三翠会・日本野鳥の会神奈川支部

2) 三翠会・日本野鳥の会神奈川支部